

## 八戸市長1年目公約 「達成へ着実に進行」

### 市民委が評価書提出

八戸市の政策を審議する市総合計画等推進市民委員会（委員長・丹羽浩正八戸学院大学教授）は30日、熊谷雄一市長の任期1年目の政策公約の取り組み状況をまとめた評価書を熊谷市長に提出した。「コロナ禍の難しい市政運営が求められる中、政策公約は一部達成できており、公約の達成に向け取り組みが着実に進められている」と総括した。

市民委は、昨年11月の市長就任から今年7月末までの取り組み状況を調査、審議した。44の重点施策の評

価は「達成できている」が9施策、「一部達成できている」が28施策、「達成できていない」が7施策。

丹羽委員長は「評価書提出により、市民の市政への関心が高まり、市勢発展や



熊谷市長に政策公約評価書を提出する丹羽委員長（中央）と委員

市民福祉の向上につながることを期待する」と述べ、熊谷市長は「単年度で評価していただけることは今後の参考になる。十分に生かして市政運営に当たりたい」と答えた。

八戸市長の政策公約の評価は、これまで「市政評価委員会」が4年に1度行ってきたが、本年度から市民委が毎年評価する制度に変わった。市は評価書を新年度の予算編成に反映させる方針。

市民委は30日、第7次市総合計画に対し、進捗状況や今後重点的に取り組むべき事項を盛り込んだ意見書も熊谷市長に提出した。

（三好陽介）